



2023年4月28日

各位

上場会社名 中部電力株式会社
代表者 代表取締役社長 林 欣吾
(コード番号 9502)
問合せ先責任者
経営管理本部決算グループ長 坪内 優和
(TEL 052-951-8211)

通期連結業績の前年実績値との差異に関するお知らせ

2023年3月期通期の連結業績と前期実績値との差異につきまして、お知らせいたします。

記

2023年3月期通期連結業績の前年度実績との差異(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に帰属する 当期純損益	1株当たり 当期純損益
前期実績(A) (2022年3月期)	百万円 2,705,162	百万円 △53,830	百万円 △59,319	百万円 △43,022	円 銭 △56.90
当期実績(B) (2023年3月期)	3,986,681	107,089	65,148	38,231	50.56
増減額(B-A)	1,281,519	160,919	124,468	81,254	
増減率(%)	47.4	—	—	—	
(ご参考) 前回発表予想(C)	4,000,000		60,000	50,000	66.12
増減額(B-C)	△13,318		5,148	△11,768	
増減率(%)	△0.3		8.6	△23.5	

業績差異の理由

収支の状況につきましては、連結売上高(営業収益)は、燃料費調整額の増加などから、前連結会計年度と比べ47.4%増加し3兆9,866億円となりました。

連結経常損益は、燃料価格の変動が電力販売価格に反映されるまでの期ずれについて差損が縮小したことや、中部電力ミライズにおける電源調達ポートフォリオの見直しなどによる市場価格高騰影響の抑制、調達コストを踏まえた販売活動の展開などから、前連結会計年度と比べ1,244億円改善し651億円の利益となりました。

また、独占禁止法関連損失275億円や子会社などにおける固定資産の減損損失142億円を特別損失に計上した一方、政策保有株式の一部を売却したことなどにより有価証券売却益453億円を特別利益に計上しました。

この結果、親会社株主に帰属する当期純損益は前連結会計年度と比べ812億円改善し382億円の利益となりました。

詳細につきましては、本日開示しております「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」をご覧ください。

以 上